



発行 湯浅町
和歌山県有田郡湯浅町大字青木668番地1
TEL.0737-63-2525 FAX.0737-63-3791
令和8年6月発行

湯浅町制施行130周年記念誌



町長挨拶

湯浅町制施行 130 周年を迎えるにあたって

明治29年6月22日、湯浅村が町になり、湯浅町が誕生しました。

本年、町制施行130周年の記念すべき節目を迎えることができましたのは、先人たちのたゆまぬ努力と、町民の皆様をはじめ関係各位の温かいご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。また、この慶びを皆様と分かち合えることを、心より光栄に存じます。

130周年をお祝いする記念式典は、これまでの歩みを振り返り、先人たちや町民の皆様のご尽力に改めて敬意を表すとともに、未来に向けて、ともにまちづくりを考える機会となることを願うものでございます。

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた湯浅は、古くから交通の要衝として栄え、有田地方における行政・商工業の中心として発展を遂げてまいりました。

醤油醸造の発祥の地として日本遺産に認定された文化と伝統、重要伝統的建造物群保存地区に選定された趣ある町並み、湯浅湾がもたらす豊かな海の幸、世界農業遺産に認定されたみかん農業など、湯浅町は多様な魅力にあふれています。これらを最大限に活かしながら、「歴史と人の温もりで支え合うまち 湯浅」の実現を目指し、皆様が「住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたい」と憧れるまちづくりに、より一層力を尽くしてまいります。

現代は、変化のスピードが速く、多様なニーズが生まれる予測困難な時代です。こうした中にあっても、皆様の声に真摯に耳を傾け、柔軟に対応していくことが求められます。この130周年を新たな飛躍の契機と捉え、町民の皆様とともに力強く未来へ踏み出す決意でございます。湯浅町のまちづくりには、引き続き、皆様の温かいご協力が不可欠です。この大切な湯浅町を、さらに誇れる、愛されるまちへと、ともに発展させてまいりましょう。

目 次

・町 長 挨 拶	1
・議 長 挨 拶	2
・式 典 次 第	3
・受 賞 者 一 覧	
自治功労表彰	4
社会功労表彰	5
・130 年 の 歩 み	6



令和8年6月28日

湯浅町長 上山 章 善

議長挨拶

「ふるさと湯浅」の歴史を偲び、さらなる飛躍を願って

湯浅町制施行 130 周年を迎え、町民の皆様とともにお慶び申し上げます。

町制の長きにわたる歴史は、まさに今日の湯浅町の礎を築かれた先人たちのたゆまぬ努力と英知の結晶であります。醤油醸造や柑橘、しらすに代表される豊かな資源を育み、地域社会と文化を継承しながら、幾多の困難を乗り越え、今日の「ふるさと湯浅」を築き上げてこられた先人の皆様の偉業に対し、深く敬意を表します。

また、湯浅町を支える町民の皆様及び全国各地から湯浅町への想いを馳せ、まちづくりにご支援をいただいた関係各位のご尽力に心より感謝を申し上げます。

私たちは今、人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、そして南海トラフ地震への備えといった喫緊の課題に直面しています。しかし、この 130 周年の節目の年を迎え、伝統を大切にしながらも、新たな時代の要請を踏まえ、未来を切り拓いていくことこそ、私たちに課せられた使命であります。

町議会としましても、町民の皆様の負託に応え、この歴史と伝統ある湯浅町が、次世代へ継承すべき魅力と活気に満ちた地域であり続けるよう、全力で取り組む所存です。

町行政はもとより、町民の皆様、そして各界の皆様との連携を一層深め、知恵を出し合い、力を合わせることで、持続可能で、誰もが安心し安全に暮らせるまちづくりを実現してまいりたいと願います。

この記念すべき年を契機として、ふるさと湯浅がさらに飛躍し、豊かな未来を創造できることを確信しております。皆様と共に、希望に満ちた明日へ向かって歩みを進めていくことを誓い、挨拶とさせていただきます。



令和 8 年 6 月 2 8 日

湯浅町議会議長 松本 光成

式典次第

第 1 部

オープニング ～和太鼓 心音～

国歌斉唱

開式の辞

来賓祝辞

来賓紹介

祝電披露

功労者表彰

受賞者代表謝辞

第 2 部

湯浅町制施行 1 3 0 周年記念シンポジウム

講演会『歴史的まちなみと体験型観光について』

講師：株式会社地域活性局 代表取締役 藤丸 正明 氏

パネルディスカッション

テーマ『町並みと観光（まちあるき）』

閉会の辞

餅まき・お菓子まき

湯浅町制施行130周年記念町政功労者一覧表
(自治功労表彰)

生田 俊示	坂井 伸一	西谷 欣浩
石本 一也	坂本 久	西峯 恵美
礒岡 哲也	新林 光子	平林 宗樹
井上 栄次	千福 昌代	福田 耕三
上野 哲男	竹井 猛	前門 隆行
上山 正宏	竹内 伸幸	前田 敏彦
岡本 善樹	武内 啓和	松本 光成
加賀 洋二	竹中 健時	三木 英世
數見 寿郎	竹中 義富	宮下 晴男
加納 芳明	千森 督子	山崎 安子
北村 眞佐彦	出口 通子	山本 新平
楠 義隆	土井 卓也	横貫 進司
黒川 博務	成田 誠治	吉川 明孝

団体

湯浅町母子福祉連合会

湯浅町制施行130周年記念町政功労者一覧表
(社会功労表彰)

石本 真理子	児島 謙作	中島 巧
礒岡 靖美	権 泰子	西川 雅三
井上 栄次	境 正文	西峯 恵美
上田 さとみ	坂口 計夫	西邑 木久美
上野 千鶴子	杉原 正晃	橋本 和弘
上山 正宏	関 真芳	平林 宗樹
江川 みほと	竹井 輝夫	星山 俊二
榎本 正子	竹中 寛	前田 芳宏
岡田 光弘	竹中 義富	見矢 義夫
小野田 昌功	谷川 雅彦	山崎 雅博
小野田 幸男	出口 通子	吉田 孝史
亀井 キヨ子	中 長二	
黒川 博務	中川 陽子	

団体

株式会社 古勝

特定非営利活動法人 ヒューマンライツゆあさ

130年 の歩み

130年の湯浅の主な出来事

- 1889** 明治22年 現在の大字湯浅・別所・青木・山田で湯浅村を編成、田・栖原・吉川で田栖川村を編成
- 1894** (明治27年) 日清戦争起こる
- 1896** 明治29年 和歌山、新宮、田辺等に次いで県下でも比較的早く湯浅村が町制を施行
- 1904** (明治37年) 日露戦争起こる
- 1911** 明治44年 それまで深専寺境内にあった有田郡役所が新設
- 1915** 大正4年 湯浅の海岸駅から金屋口まで有田鉄道開業

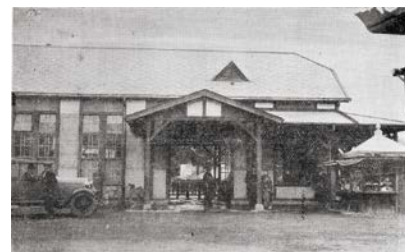
- 1927** 昭和2年 国鉄紀勢線紀伊湯浅駅開業
- 1931** 昭和6年 町制実施35周年記念祭
- 1933** 昭和8年 私立湯浅幼稚園が開園、当初の園児130名
- 1934** 昭和9年 室戸台風来襲、高波による漁船の被害が甚大
- 1936** 昭和8年 町民待望の湯浅小学校講堂完成 全学童の1銭預金実る
- 1941** (昭和16年) 太平洋戦争起こる
- 1945** (昭和20年) 終戦
- 1946** 昭和21年 昭和南海地震発生、津波による浸水被害が甚大

- 1951** 昭和26年 町制施行55周年記念祝賀会
- 1953** 昭和28年 空前の豪雨、被害甚大、広川氾濫のため島之内・中川原をはじめ町内各所で浸水 (同年) 7.18 水害起こる
- 1956** 昭和31年 湯浅町と田栖川村が合併、現在の湯浅町が誕生
- 1960** 昭和35年 国道42号線顯國神社の東から広川町まで2,200m 開通
- 1961** 昭和36年 郡役所跡に町庁舎完成、中町の庁舎から移転
第二室戸台風来襲
- 1964** (昭和39年) 東京オリンピック開催

- 1965** 昭和40年 湯浅湾の北浜の埋立完成
児童、生徒の栄養の強化を図るための学校給食始まる 地域改善対策事業始まる
- 1970** (昭和45年) 大阪で万国博覧会開催
- 1971** 昭和46年 「黒潮国体」バドミントン競技が開催される (湯浅中学校)
- 1972** 昭和47年 給食センター完成
- 1977** 昭和52年 南浜埋立が完成、大相撲が開催される
- 1995** (平成7年) 阪神淡路大震災
- 1996** 平成8年 地域福祉センター開設
湯浅中学校屋内運動場竣工
- 2006** 平成18年 湯浅の醤油醸造の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定



有田郡会議事堂



紀伊湯浅駅



有田鉄道 湯浅駅



湯浅の浜 (昭和9年 室戸台風の影響)



湯浅小学校講堂



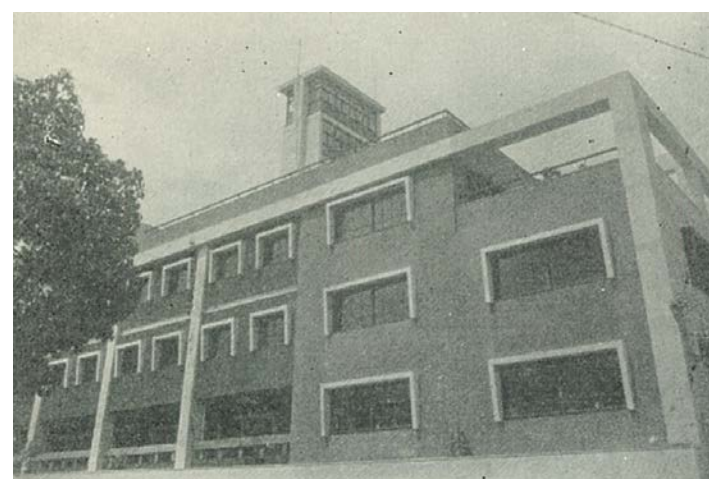
湯浅町・田栖川村合併祝賀



湯浅町・田栖川村合併祝賀行列



栖原 (昭和36年 第二室戸台風被害)



湯浅町旧庁舎



大相撲開催

130年の湯浅の主な出来事

- 2007**
平成19年
- 第1回全国醤油サミットinしょうゆのふる里「ゆあさ」を開催
- 2011**
平成23年
- 湯浅中学校・湯浅小学校校舎建替え、田村小学校、田栖川小学校、山田小学校の耐震補強
(同年) 東日本大震災
- 2014**
平成26年
- 新田坂トンネル完成
- 2015**
平成27年
- 湯浅町庁舎、建替え移転
 - 天皇・皇后両陛下湯浅町庁舎に行幸啓
当日午後紀の国わかやま国体開会
 - 紀の国わかやま国体、軟式野球競技会をなぎの里球場で行う
 - 国体デモンストレーションとして湯浅スポーツセンターでスポーツ吹矢の競技あり
- 2016**
平成28年
- 醤油醸造やみかん栽培といった湯浅固有の風情・情緒・佇まいといった良好な環境を維持・向上させる
「湯浅町歴史的風致維持向上計画」が国の認定を受ける
 - 町制施行120周年記念式典
(同年) 熊本地震
- 2017**
平成29年
- 醤油醸造業を中心として栄えた町並みや、そこに住む人々が営んできた暮らし、生業、信仰、交通といった文化を物語るストーリー『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』が日本遺産の認定を受ける
- 2018**
平成30年
- 湯浅町特産物流通物販センター「湯浅美味しいもん蔵」が完成
(同年) 西日本豪雨
- 2019**
平成31年
- 湯浅町「一気通貫」産直加工流通加速化センターが完成
(同年) 「令和」に改元



湯浅中学校校舎



醤油サミット



紀の国わかやま国体、軟式野球競技会



湯浅町役場庁舎



日本遺産認定

130年の湯浅の主な出来事

- 2020**
令和2年
- 改良住宅跡地に湯浅町観光用駐車場が完成
 - 図書館、観光案内所、JR湯浅駅などが併設された駅前複合施設「湯浅えき蔵」が完成
(同年) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大
- 2021**
令和3年
- 湯浅町立ゆあさこども園、たむらこども園が完成
 - 湯浅町コミュニティセンター「栖原区民センター」が完成
 - 湯浅町営駅前駐車場、湯浅町営駅前駐輪場、おちゃと公園が完成
 - 第36回国民文化祭わかやま2021で「ゆあさ醬祭り」を開催
 - 新型コロナウイルス感染症の経済対策として、町内の参加店で使用できる商品券「ゆあさクーポン(第1弾)」を発行
(同年) 東京オリンピック開催
- 2023**
令和5年
- 湯浅駅旧駅舎を改修。電車を間近に眺めながら、食事や買い物ができる施設「湯浅米醬」として生まれ変わる
(同年) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行
- 2024**
令和6年
- 湯浅中学校の制服が新しくなる
 - 大阪・西梅田の「KITTE大阪」に湯浅町のアンテナショップ「ゆったり、まったり ゆあさんぽ」がオープン
(同年) 能登半島地震
- 2025**(令和7年) 大阪・関西万国博覧会開催
- 2026**
令和8年
- 湯浅斎場が完成



湯浅えき蔵



おちゃと公園



大相撲大阪場所



湯浅駅旧駅舎



ゆあさんぽ